

株式会社 **妙徳**

2019年12月期 決算説明会

2020年2月21日

目次

- 1** 2019年12月期決算概要
- 2 2020年12月期業績予想、株主還元
- 3 今後の方針

2019年12月期業績

設備投資需要、半導体装置需要低迷し、売上高前期比▲16.6%

減収影響を補いきれず各利益とも前期比減益

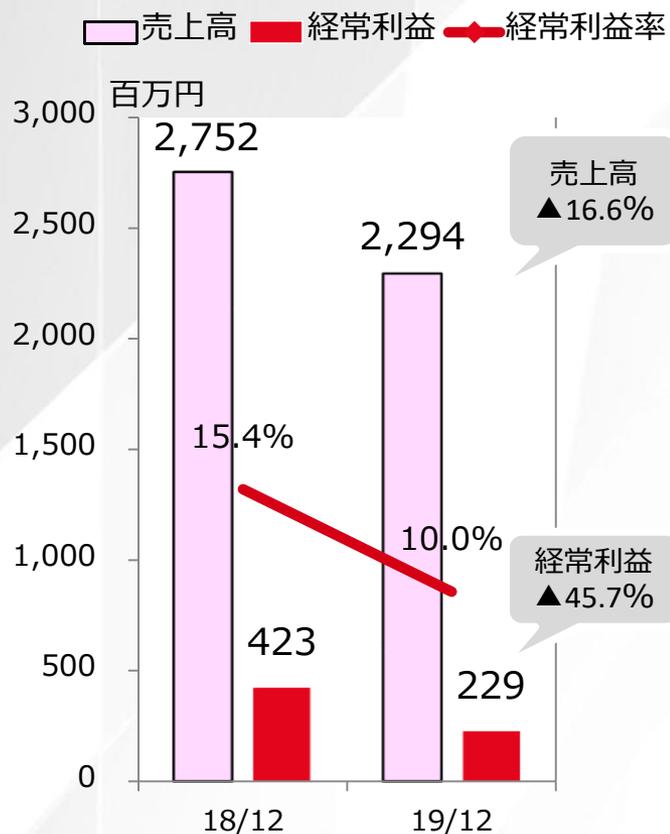
(百万円)

	2018年 実績	2019年 予想	2019年 実績	増減率 (%)	
				前期比	計画比
売上高	2,752	2,360	2,294	▲16.6	▲2.8
売上総利益 (売上総利益率)	1,464 (53.2%)	1,272 (53.9%)	1,234 (53.8%)	▲15.7	▲3.0
販売費及び一般管理費	1,054	1,077	1,020	▲3.3	▲5.3
営業利益	409	194	214	▲47.7	+9.9
経常利益 (経常利益率)	423 (15.4%)	218 (9.2%)	229 (10.0%)	▲45.7	+5.2
税引前当期純利益	423	217	222	▲47.3	+2.7
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	310 (11.3%)	132 (5.6%)	147 (6.4%)	▲52.4	+11.7
1株当たり当期純利益	205円24銭	86円47銭	96円40銭	▲108.84円	+9.93円

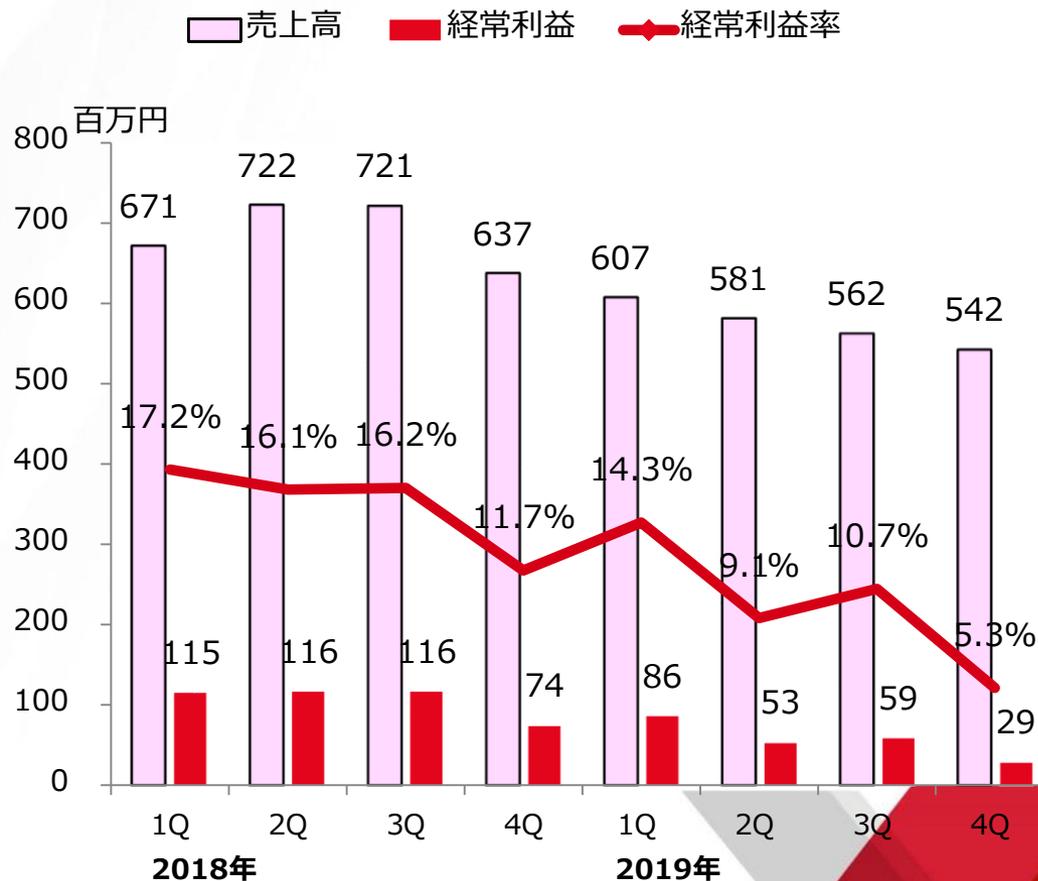
※2019年予想は2019年8月9日修正公表値

連結売上高、経常利益推移

前期比



四半期推移

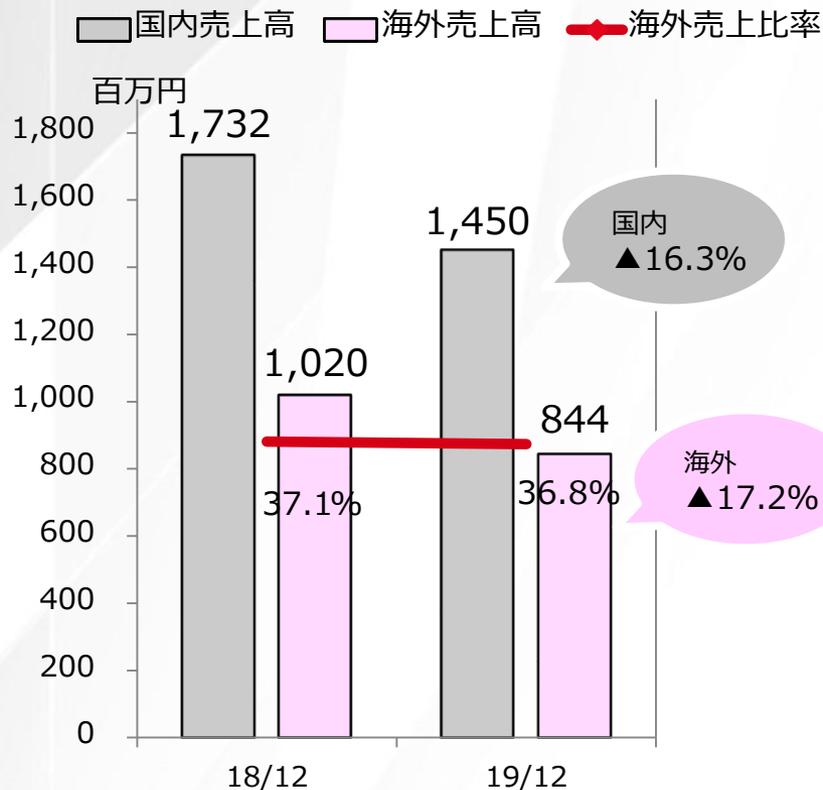


地域別売上高

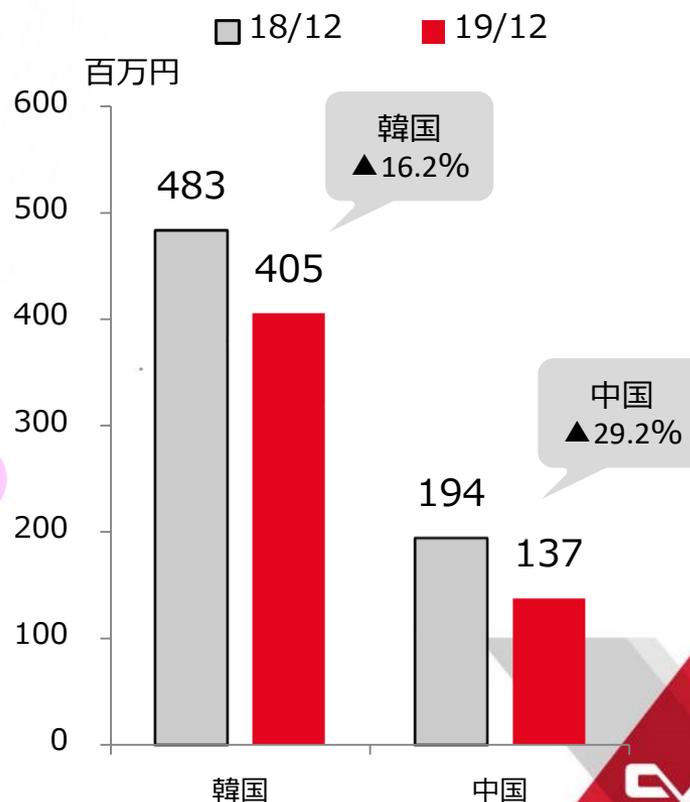
国内、海外ともに苦戦 前期比減収

国内売上高1,450百万円▲16.3% 海外売上高844百万円▲17.2%

国内/海外別売上高



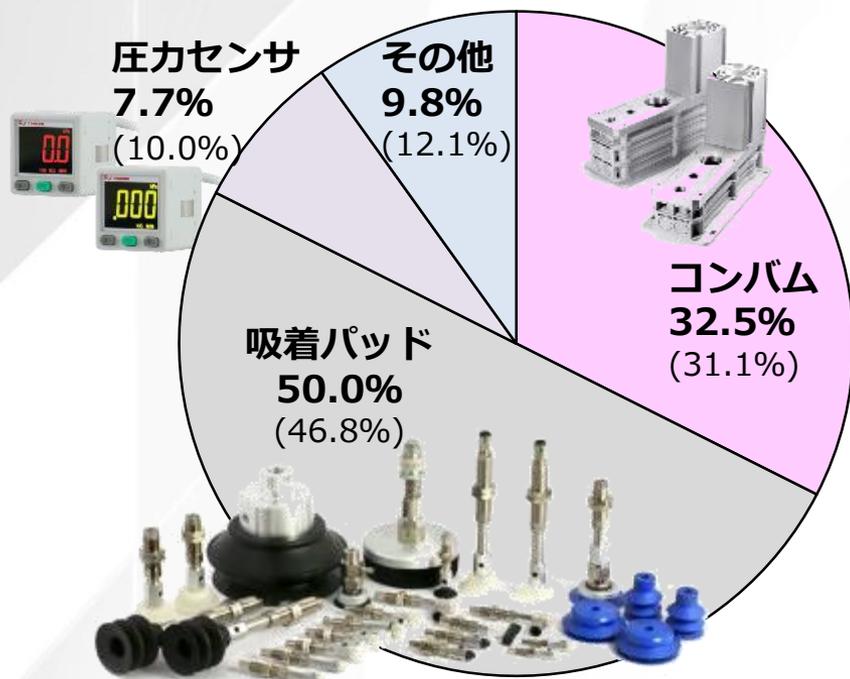
海外売上高 内訳



製品群別売上高

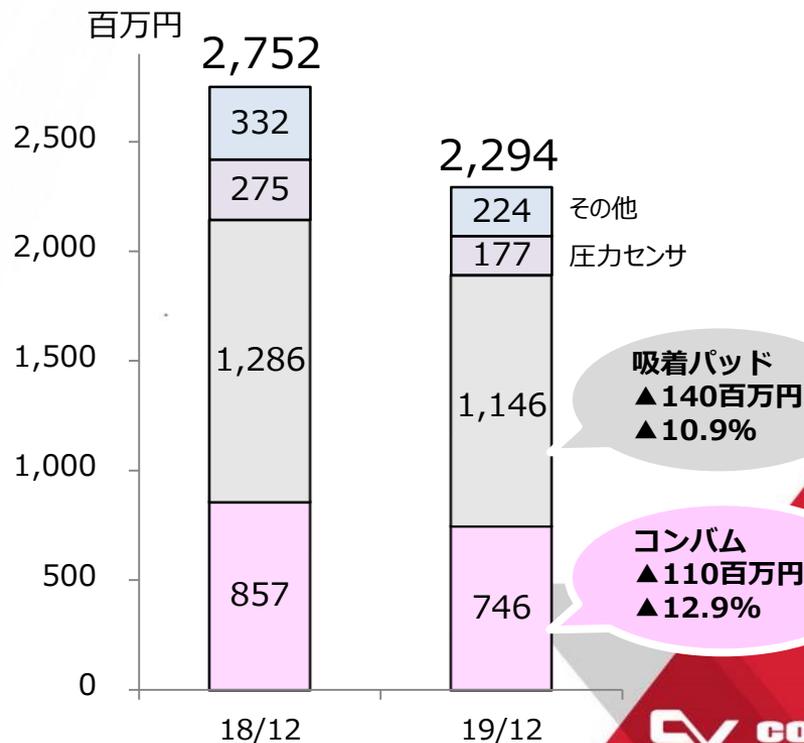
- 主力の「コンバム（真空発生器）」「吸着パッド」で80%の売上高
- 新規設備需要、メンテナンス需要ともに減少

製品群別売上高構成比



()内は、前年同期 売上構成比

製品群別売上高推移



連結財務状況

(単位：百万円)

連結貸借対照表

		2018年 12月期末	2019年 12月期末	前期比 増減額
資産	流動資産	2,616	2,743	126
	固定資産	2,234	2,290	56
資産合計		4,851	5,034	182
負債	流動負債	271	300	29
	固定負債	143	151	8
負債合計		414	452	37
純資産合計		4,436	4,581	145
負債・純資産合計		4,851	5,034	182
自己資本比率		90.9%	90.4%	▲0.5pt

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号2018年2月16日）を2019年12月期の期首から適用しており、2018年12月期の連結貸借対照表については、遡及適用後の数値を記載しております。

連結キャッシュフロー計算書

	2018年 累計	2019年 累計
営業キャッシュフロー	259	626
投資キャッシュフロー	▲182	▲153
財務キャッシュフロー	22	▲52
現金及び現金同等物の増減額	88	416
現金及び現金同等物の期首残高	1,123	1,212
現金及び現金同等物の期末残高	1,212	1,628

営業CF 主な増加要因

売上債権の減少額 154百万円

棚卸資産の減少額 129百万円

目次

1 2019年12月期決算概要

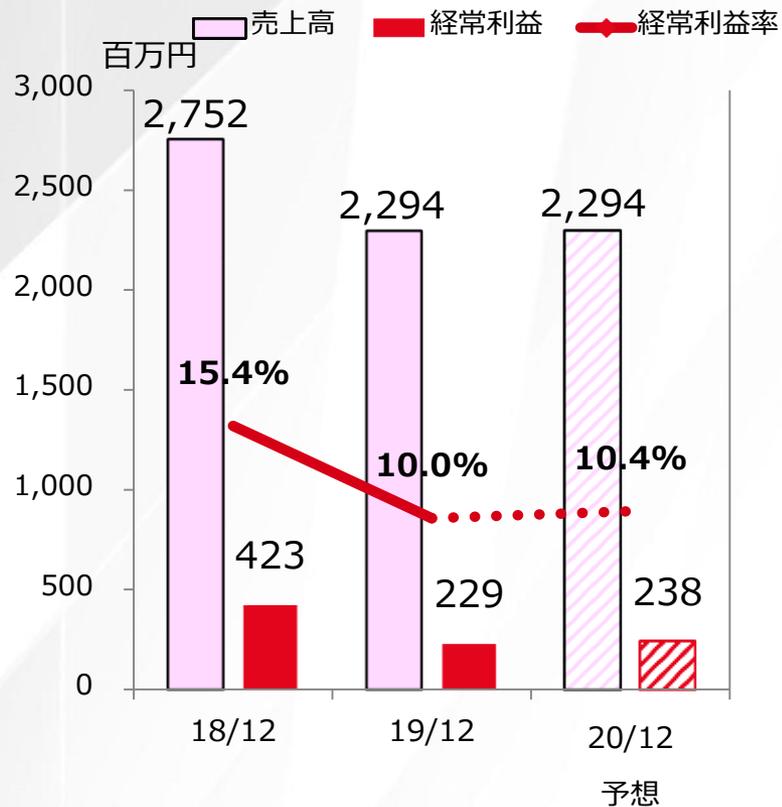
2 2020年12月期業績予想、株主還元

3 今後の方針

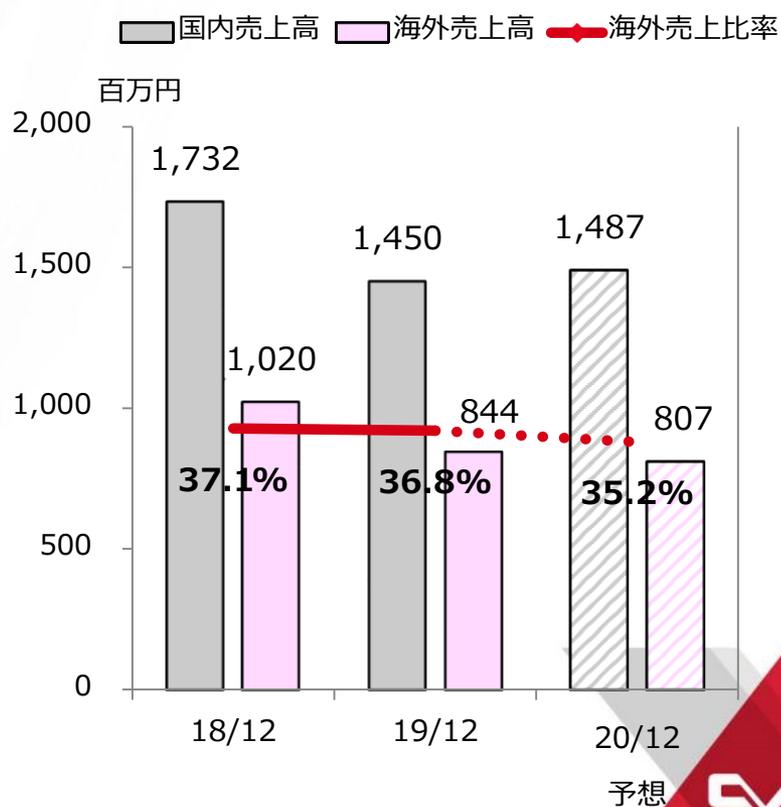
2020年12月期業績予測

- 依然として厳しい状況継続 売上高2,294百万円 前年同等見込み
- 海外不透明 国内1,487百万円+2.5% 海外807百万円▲4.4%

売上高、経常利益推移



国内海外別売上高



2020年12月期業績予測

■ 前期比ほぼ横ばいの見込み

■ 研究開発・技術・設備・人材への投資は前期同等額を継続

(百万円)

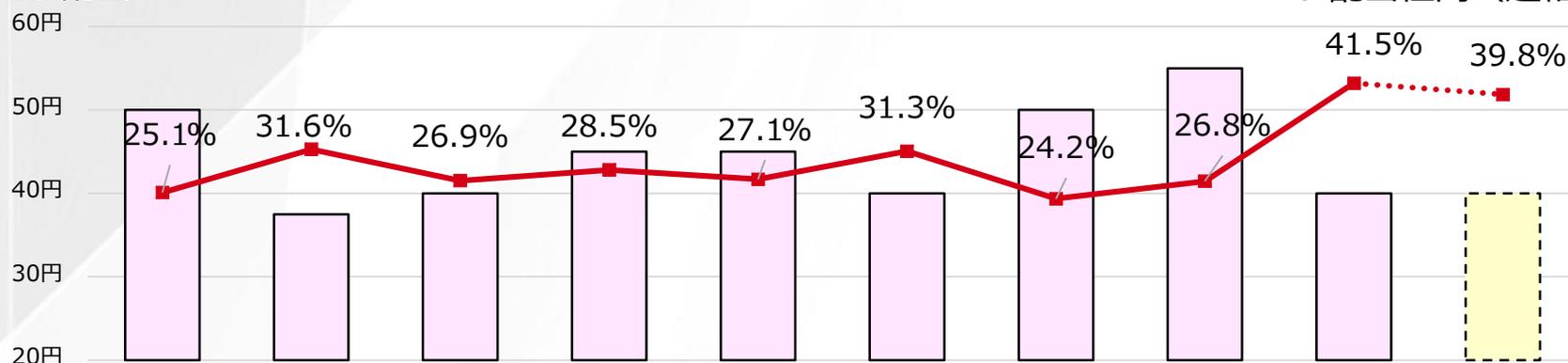
	2018年 実績	2019年 実績	2020年 予想	前期比	
				増減額	増減率 (%)
売上高	2,752	2,294	2,294	+0	+0.0
営業利益 (営業利益率)	409 (14.9%)	214 (9.3%)	214 (9.3%)	+0	+0.1
経常利益 (経常利益率)	423 (15.4%)	229 (10.0%)	238 (10.4%)	+8	+3.8
税引前当期純利益	423	222	238	+15	+6.9
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	310 (11.3%)	147 (6.4%)	155 (6.8%)	+7	+4.9
1株当たり当期純利益	205円24銭	96円40銭	100円51銭	+4.11円	+4.3

株主還元

設備投資、人材登用等、将来に向けての基盤作りを念頭におき、
安定的、長期的な利益還元の実施を目標とする

1株当たり配当金

%:配当性向（連結）



	2011年 12月期	2012年 12月期	2013年 12月期	2014年 12月期	2015年 12月期	2016年 12月期	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期予想
中間配当	5.0円	4.0円	3.5円	5.0円	3.5円	4.0円	4.0円	5.0円	20.0円	20.0円
期末配当	5.0円	3.5円	4.5円	4.0円	5.5円	4.0円	6.0円	30.0円	20.0円	20.0円
年間配当	10.0円	7.5円	8.0円	9.0円	9.0円	8.0円	10.0円	-	40.0円	40.0円
1株当たり 当期純利益	39.78円	23.74円	29.75円	31.54円	33.19円	25.55円	41.37円	205.24円	96.40円	100.51円
配当性向	25.1%	31.6%	26.9%	28.5%	27.1%	31.3%	24.2%	26.8%	41.5%	39.8%

※2018年7月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。

棒グラフ 過去の配当金額は、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

※2014年12月期は配当は、記念配当1.0円を含む（中間配当0.50円、期末配当0.50円）

目次

- 1 2019年12月期決算概要
- 2 2020年12月期業績予想、株主還元
- 3 今後の方針**

今後の方針

当社は、今期「70周年」を迎えます
真空機器の専門メーカーとして

目指す姿 **「コンバム パッド ナンバー1」**

をスローガンとし売上拡大に取り組みます

＜基本方針＞

海外比率の拡大

業界シェアの拡大

効率的な生産体制の構築

海外比率の拡大

<海外地域別戦略>

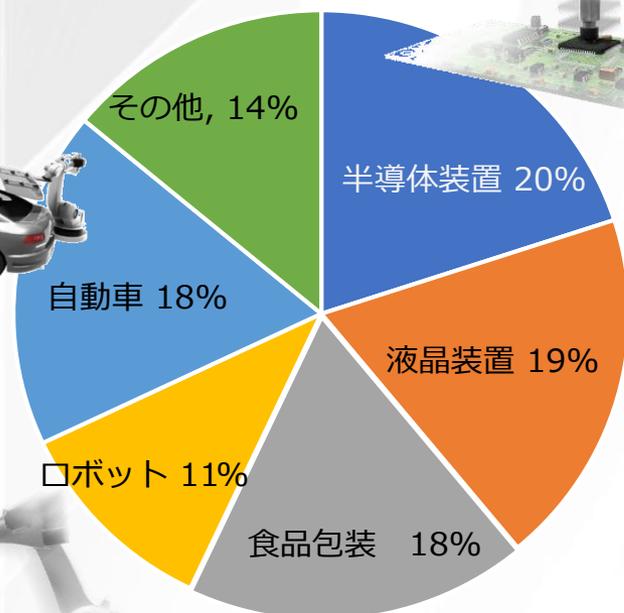
国・地域	方針及び取り組み
中国 (6%)	販売網、商流の再構築 地域別・主力販売店との提携拡大 ブランド認知度の向上
韓国 (18%)	セカンドブランド製品による新規市場への拡販強化 現地生産比率拡大によるコストダウン OEM、ODM展開による販路拡大
タイ及び東南アジア (10%)	現地システムインテグレータの開拓 近隣諸国での新規販売店の開拓、拡販
米国、欧州 (3%)	新規販売店の開拓 ブランド認知度の向上

(%) は、当社連結売上高構成比率

業界シェアの拡大

各業界、地域、市場のニーズにあわせた新製品を投入し、業界シェアを高め、グループ売上の拡大を目指す

業界別売上比率

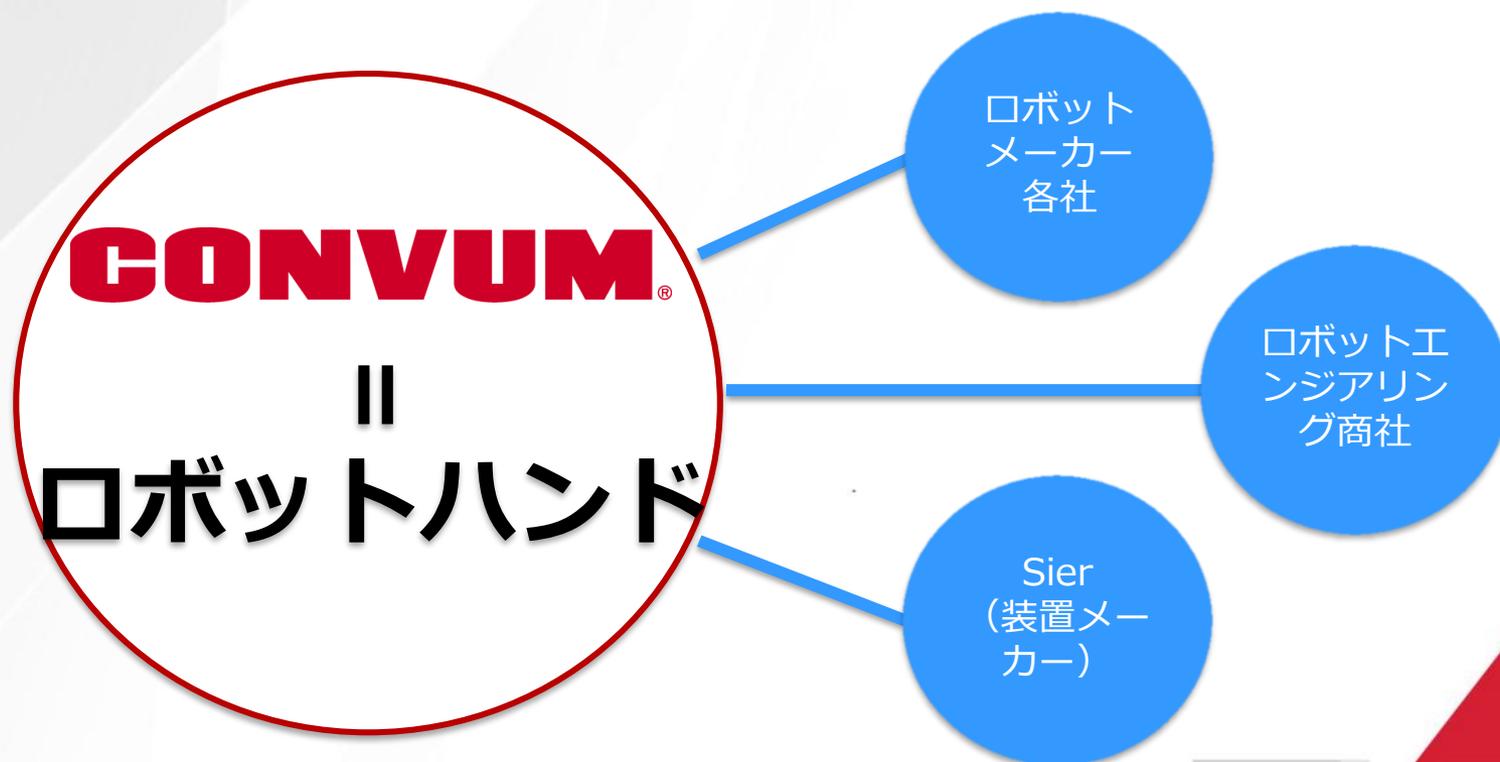


業界	方向性
半導体装置	吸着パッドの基礎研究と開発 センサ関連製品の導入
液晶装置	ガラス、フィルム向け吸着パッド 非接触搬送製品の改善
自動車	省エネ製品の開発
ロボット	協調ロボ/小型ロボ向け製品の 積極的な製品開発と投入
食品梱包	人の手の代わりとなる製品開発
その他	各種自動化への提案、システムイン テグレータとの関係性構築

業界シェアの拡大

「ロボット関連」

拡大するロボット需要に対し、
当社独自のハンド関連製品の**市場投入を継続**



協力関係を構築しロボットハンド拡大

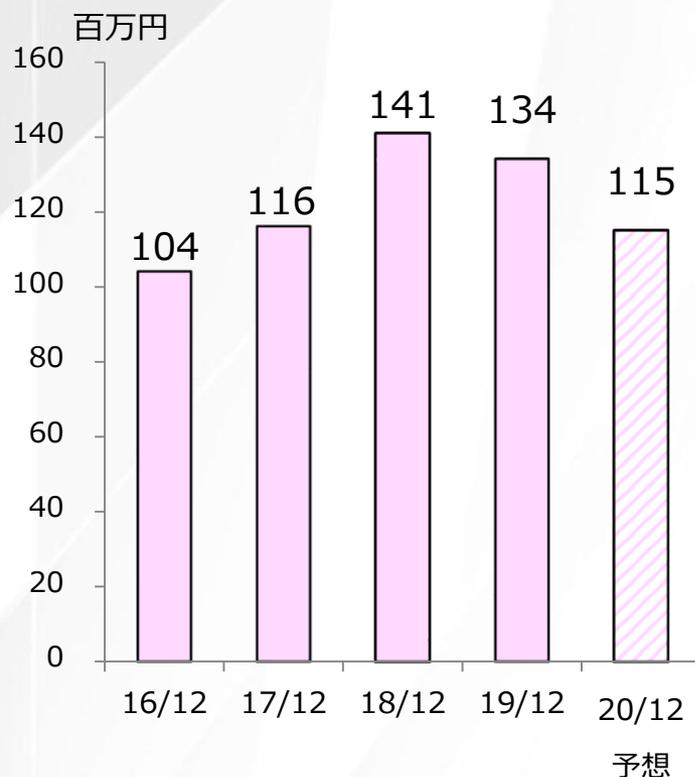
業界シェアの拡大

「開発から新製品の市場投入へのサイクル」

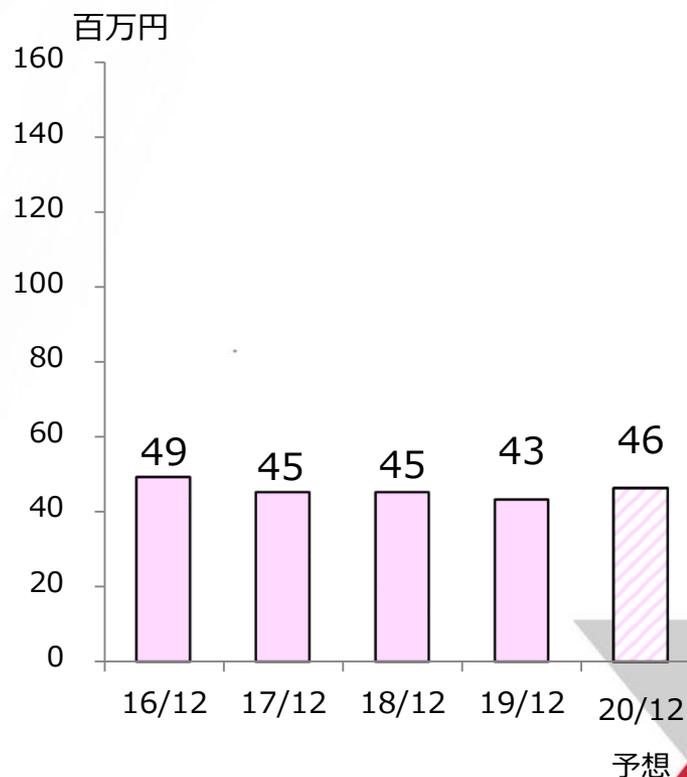
研究開発費・・・新製品投入後、今期は改良とモデルチェンジを主体

広告宣伝費・・・新製品を展示会で拡販、ユーザーニーズの収集

研究開発費



広告宣伝費



業界シェアの拡大

「開発コンセプト」

「ロボットハンド」は小型・軽量化・汎用

SGBシリーズ

何でも掴める「ロボットハンド」



ロボット関連市場の要望に応え
「**小型タイプ**」バリエーション追加

NEW CRKTシリーズ
樹脂素材「軽量モデル」



ロボットハンドキット

ハンドとパッドを一体で提案

フレーム素材を樹脂化し、小型ロ
ボットに対応可能な**軽量モデル**

NEW 電動吸着ハンド
圧縮空気不要の「ロボットハンド」



協働/小型ロボット向け電動吸着ユニット
・国内/海外製「全ロボットに取付可能」
・小型真空ポンプ内蔵、質量260g

業界シェアの拡大

「IoT対応」

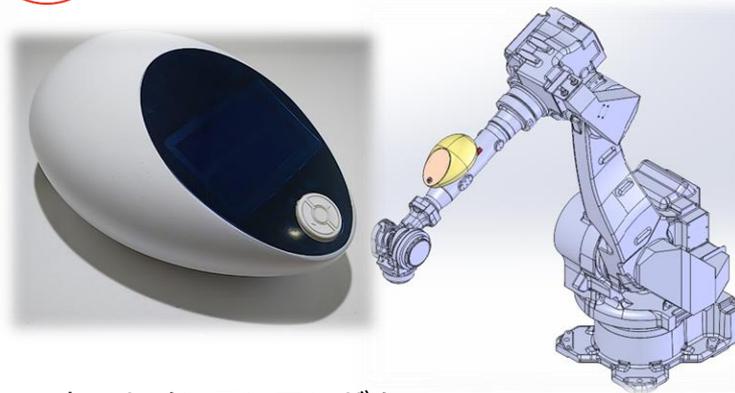
省エネ・IoTを意識した製品開発

NEW 202シリーズ
「省エネ」圧力センサ



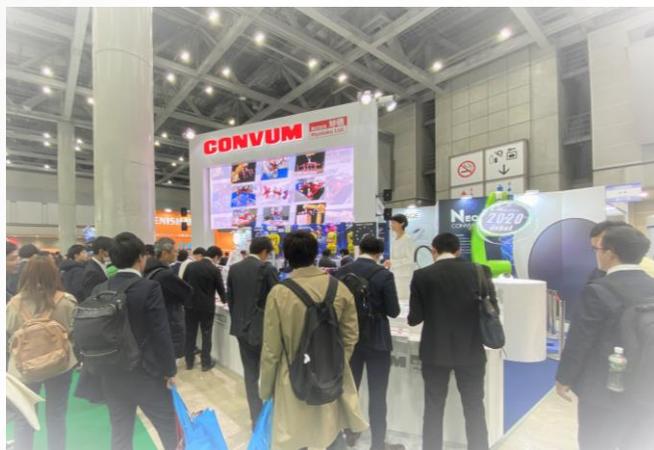
吸着能力を圧力センサが自動管理し、
コンバムの空気消費量を最大限抑制

NEW NEO CONVUM
新コンセプトハイエンドモデル



- ・オールインワンコンバム
- ・IO-LINK通信対応（デバイス機器）
- ・各種アラーム（予防保全）
- ・流量調整リモートコントロール（外部信号）
- ・動作カウンタ表示（吸着パッドの寿命管理）

新製品を展示会で出展



2019国際ロボット展

多くの来場者の注目を集める

 **CONVUM**

効率的な生産体制の構築

「岩手工場の増築・生産能力増強」

パッド自動成形/仕上→商品センタ入庫→出荷
一連のラインを新棟へ移管、自動化ライン構築



メイン工場 岩手事業所



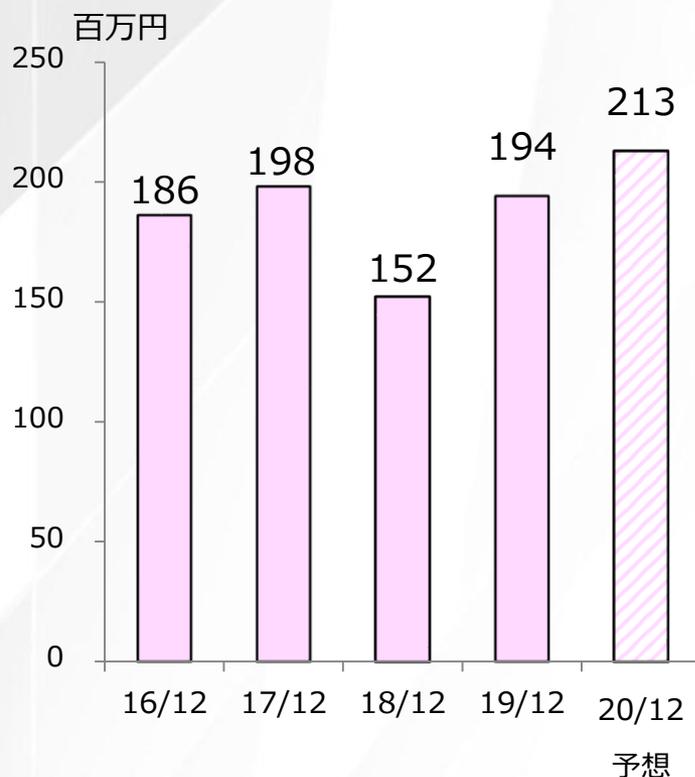
吸着パッド成形/仕上工程

効率的な生産体制の構築

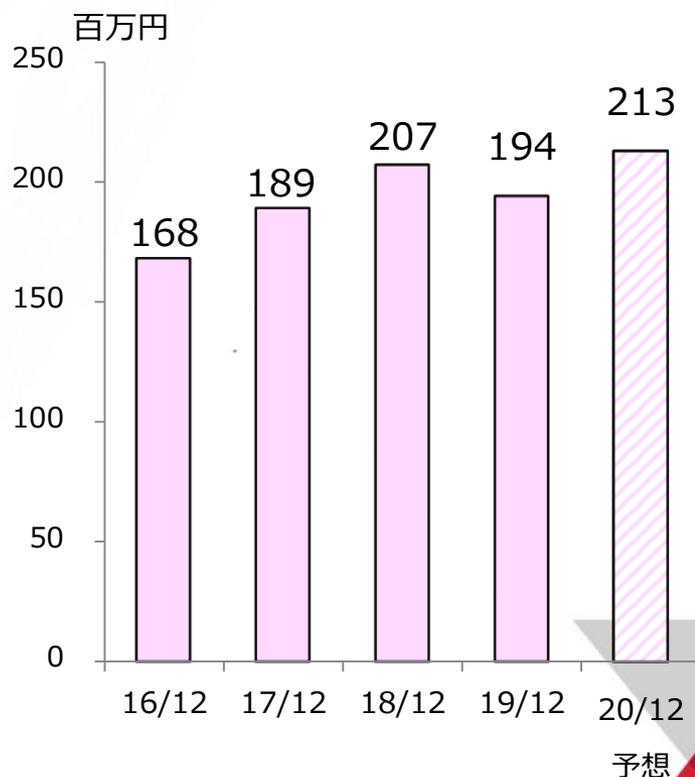
「将来を見据えた、設備投資を実施」

機械設備の更新・・・生産効率改善が主体 大型機械の投入
新製品生産の為の設備導入・・・各種検査/計測機器、金型等

設備投資



減価償却費



会社概要

(2019.12.31)

会社名	株式会社 妙徳 (英語表記 : Myotoku Ltd.)
創立 (設立)	1951年4月16日
本社所在地	東京都大田区下丸子2-6-18
代表者	代表取締役社長 伊勢 幸治
資本金	7億4,812万5千円
国内拠点	岩手、東京、名古屋、大阪、福岡
連結子会社	妙徳空覇陸機械設備 (上海) 有限公司 上海、深セン CONVUM KOREA LTD. ソウル、釜山、天安、蔚山、水原 CONVUM (THAILAND) Co.,Ltd. バンコク CONVUM USA,INC. カリフォルニア州
連結従業員数	164名 (単体119名)
発行済株式数	1,657,000株 (うち自己株式 114,331株)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場 証券コード : 6265

CONVUMって何？

CONVUM® **コンバム**とは**コン**プレッサからの圧縮空気で**バ**キュー**ム**(真空)を発生させることをイメージして創りだした造語です。

CONVUM®は当社の登録商標です。

当社製品の使用事例



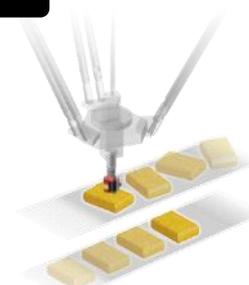
自動車フロントガラスの吸着



電子部品・半導体部品の実装



ロボットを利用した吸着搬送



主に各種製造工場、各種自動化装置において、対象物を吸着固定・吸着搬送するための把持装置として使用されています。

お問い合わせ先

IR統括責任者

代表取締役社長 伊勢 幸治

お問合せ先

取締役執行役員経営企画担当

泉 陽一

TEL : 03-3759-1491 / E-mail : info@convum.co.jp

HPでは会社情報を随時更新しております

URL: www.convum.co.jp

株式会社 妙徳

この資料に記載しております事項は、当社をより理解していただくためのものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。従いまして、投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。